

高収益作物の収穫始まる

(水橋狐塚・水橋桜木ほか)

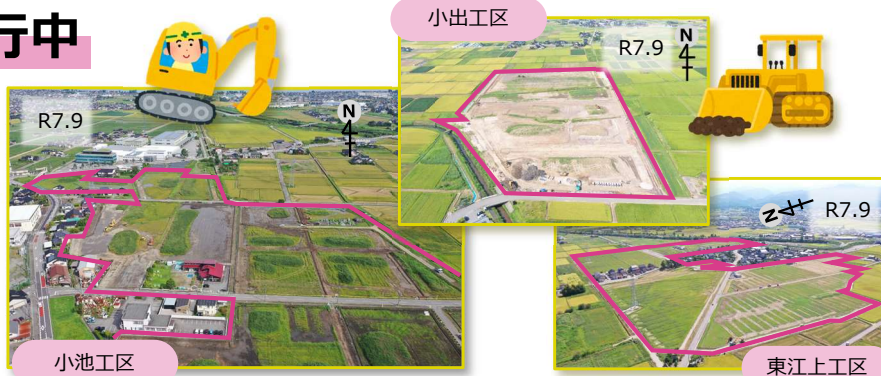
J A・行政等で構成される『水橋園芸導入促進チーム』が支援するモデル経営体において、国営事業により整備されたほ場での高収益作物の収穫が徐々に行われています。また、モデル経営体以外にも多様な作物に取り組み、販売先があり、機械化体系が可能で、かつ水橋地区のほ場に合った作物を模索しています。

水橋狐塚・桜木ほか
エリア



R7年度工事進行中

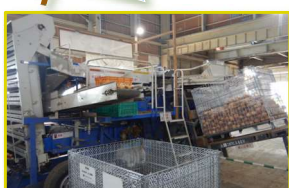
9月末現在、水橋工区、小出工区、小池工区、東江上工区他にて工事が実施されています。地元の要望に応えながら、スムーズに工事が進むよう、関係機関による調整が行われています。



園芸生産モデル経営体取組 視察バスツアー

夏編

高収益作物の栽培を積極的に行っている経営体を視察するバスツアーでは、たまねぎの乾燥・調製（根葉切り）、選別作業や地下かんがいシステム導入ほ場を見学しました。



地下かんがいほ場では、加工用になじんの栽培実証を行っており、慣行栽培（スプリンクラーかん水）と収量や作業性の比較が行われます。

スマート農業体験学習開催

水橋地区の小学校の児童を対象に、水橋地区の農業の未来に関する講義やスマート農機の体験学習が実施されました。児童は、農薬散布等に使用するドローンの操作体験や自動走行農機の試乗により、農作業の労力が軽減されることを体感しました。



水橋地区からの声

水橋地区の将来を担う方や整備に関わる方へのインタビューをお届けするコーナーです。

今回お話を伺ったのは

(株)IRON FARM 堀代表

Q1. 本事業への思いをお聞かせください。

A1. ほ場整備後の条件が整った農地で規模拡大を図りたいため、行政とのやりとりや集落内での調整がスムーズに進み、1年でも早くほ場整備が実施されることを願っています。

経営面積
27ha
(水稲、たまねぎ、にんじん、かぶら等)

出身
水橋小出
趣味
バイク、キャンプ



経歴
会社員
▼
新規就農研修
▼
独立 (R5.4)
▼
法人化 (R7.7)

Q2. 力を入れている取組みはありますか。

A2. ほ場整備直後のほ場は基盤が安定していないため、代掻きの必要がない乾田直播に取り組んでいます。土づくりやほ場の均平が重要ですが、播いた種がその場で生長していく様子を見るのは楽しいです。

Q3. 事業完了時の目標はありますか。

A3. 水稲だけでなく、野菜においても積極的に栽培技術の習得に取り組み、皆様に安定して食料を供給できるよう規模拡大していきたいです。

10月以降の
主な行事

11月 5日
11月11日
11月12日
11月27日・12月10日

農地の維持管理に関する研修会（水橋狐塚地内）
とやま水土里フォーラム（講演、現地視察等）
R7年度 第2回 営農推進ワーキングチーム（富山総合庁舎）
地域営農ワークショップ（水橋ふるさと会館 相山ホール）

国営農地再編整備事業「水橋地区」の情報発信

国営水橋マガジン

令和7年

秋号
(No.10)

R7.10.21
発行

富山県 富山農林振興センター
指導課 国営事業推進班
(TEL) 076-444-4486

↓バックナンバーも
チェック!

